

本質を追い求めて!

「分かる」と「できる」を 一致させることが教師の仕事

楽しい体育のヒート



松本市立波田小学校の青柳智之先生の道場に参加させていただきました。青柳先生のマットの授業を参観させていただいた後、道場が開催されました。青柳先生は教科担任制でも体育を教えていて、子どもたちは体育が楽しいと言っているとのことでした。授業を参観させていただき、楽しい理由が分かりました。青柳先生はマットの技で「この前より伸びている」「美しい」と子どもの姿に対し前向きな評価をされていました。笑顔やウイットを忘れない言動で、子どもたちが伸び伸びと取り組んでいました。また、子どもたちはマットの準備から準備運動まで指示なく行っており、楽しんでいました。道場では青柳先生が授業で大切にしていることのお話があり、そのお話に触発されたりアドバイスをもらったりして、12月に跳び箱で授業をすることを決めた受講者もいました。受講者の中には、この道場でヒントをもらい教育課程研究協議会で「シンクロマット」で授業を公開した先生もいて、青柳先生の講座が受講者の授業に役立っていることが分かりました。

道場に参加して

授業構想が決まった!

ヒントをもらい閃いた!

